

保健医療福祉情報基盤検討委員会報告

2017.7.24

保健医療福祉情報基盤検討委員会

委員長 高橋 弘明

狙い

ISOWG1,WG8に関しては、JAHIS意見を集約する機会を持つ
(JAHISに対応する委員会がなかった)

海外の標準化の動きと、JAHISの活動との関係性の整理をおこなう。

「保健医療福祉情報基盤検討委員会」の発足

2010年1月

【趣旨】

1. 日本における保健医療福祉の情報基盤のあり方に関する検討を行う。
2. 各委員会の討議内容の議論と調整
3. ISO WG1,8(スポンサー)活動に対して発信する意見を調整する。

※今後JAHISが対外的に意見を発信すべき相手と、その内容についても議論する。

◆委員長

高橋 弘明	NTTデータ
-------	--------

◆副委員長

西原 栄太郎	東芝メディカルシステムズ
鹿妻 洋之	オムロンヘルスケア

◆戦略企画部長

森本 正幸	富士通
-------	-----

◆運営幹事

高橋 俊哉	富士通
小林 俊夫	日本アイ・ビー・エム
八木 春行	東芝メディカルシステムズ
西村 寿夫	パナソニックヘルスケア
松尾 仁司	日立製作所
真野 誠	日本電気

◆各委員会代表

吉村 仁	J A H I S
佐々木 文夫	日本電気
岡田 真一	日本電気
井上 貴宏	富士通
岡 和彦	東芝メディカルシステムズ
中光 敬	NTTデータ

◆エキスパート

稲岡 則子	日本アイ・ビー・エム
長谷川 英重	特別委員

◆事務局

岩本 和則	J A H I S
-------	-----------

- スポンサーとなっているISO/TC215 WG1を中心に標準化に関する国際動向の情報収集と整理を行い共有をはかった。
- 保健医療福祉情報基盤における海外ISO等標準化の議論状況と国内の現状・課題を整理し、JAHISとしての今後のアクション等を「保健医療福祉情報基盤における、海外状況と国内状況、及び今後のアクション」（俯瞰表）として取りまとめた。

	海外状況	国内状況			今後のアクション		
	I S O等標準化での議論の状況	対象分野（データ）	現状の状況と課題	JAHISのアクティビティ	国内	海外	担当委員会
二次利用・疫学的活用		レセ電データ（医療）					
		特定健診ほかのN D B					
		レセ電データ（介護）					
		D P Cデータ					
		医療情報DB					
		各種医療データ					
		Q I / C Iデータ					
個人の生涯にわたる健康情報の管理・活用		在宅データ計測器					
		健診データ					
		診療データ					
		介護データ					
		福祉データ					
地域における医療施設間の連携		地域の医療施設間の連携					
		I D					
		地域連携パス					
		電子処方せん					
		医療と介護の連携					
医療安全（参考）		医療安全（参考）					
個人情報（参考）		個人情報（参考）					

疾患別DB

代理機関・匿名加工

JAHIS受託事業

医療等ID、資格確認関連

技術文書（院外処方せん2次元シンボル）

GHS、IEC82304-1のJIS化関連

個人情報改正関連

米国の最新状況

- 医療IT政策、動向について海外および国内の両面から捉え、JAHIS活動の方向性や課題等について議論を行い整理する。
- 海外の推進状況と国内の推進状況との比較、JAHISが行っている各種活動との対比および、今後のアクションの抽出を行い、俯瞰表としての引き続き取りまとめる。
また、国内の関連する組織（省庁、団体等）や会議体の情報を付加し、推進状況との関係性を見える化する。

ご清聴ありがとうございます。

今後も、保健医療福祉情報基盤検討委員会の活動にご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。